



電気学会 IEEJ プロフェッショナル アクションレポート
2009年11月・第13号

IEEJ プロフェッショナルニュース

ニュース1. IEEJ プロフェッショナル第17回懇談会 (メモ)

1. 日時 平成21年9月15日(火) 15時～17時30分
2. 場所 電気学会会議室
3. 出席者 10名
4. 議事
 4. 1 森末道忠氏講演
 - (1) 「超電導のエレクトロニクス応用 (デジタル技術を主として)」のタイトルであった。
 - (2) 超電導の歴史、超電導の応用分野、エレクトロニクス分野への応用、超伝導デジタル応用、超伝導計算機への挑戦、SFQ (単一磁束量子) 革新技術開発のプロジェクト、日本における計算機開発の歩み、今後の課題等であった。
 - (3) メモリは日本の技術が流れ韓国が進んでいる、超伝導計算機等はコストにより実用化されていない、アナログシミュレーターも使われている等の意見交換があった。
 4. 2 東京都立産業技術研究センターとの共催の講演会は平成22年1月27日(水)に行われる。講演内容と式次第が承認された。参加者ができるだけ多くなるように働きかけを行う。
 4. 3 IEEJ プロフェッショナル第19回懇談会として11月17日に開催される見学会は東京電力の電気史料館で承認された。
 4. 4 IEEJ プロフェッショナル・リソースデータベースの作成

植田正紀氏より「IEEJ プロフェッショナル・リソースデータベースの作成」についてデモがあった。管理項目としてIEEJ プロフェッショナルの実績を追加する事になった。次回懇談会で最終版の議論を行う。



ニュース 2. IEEJプロフェッショナル第18回懇談会 (メモ)

1. 日時 平成 21 年 10 月 21 日 (水) 15 時～18 時
2. 場所 電気学会会議室
3. 出席者 14 名
4. 議事
 4. 1 武子雅一氏講演
 - (1) 「理科支援実験」のタイトルであった。
 - (2) 理科支援活動状況、授業風景、先生・生徒と親の悪循環、親を巻き込み、子供の関心が薄い、理科支援教材の姿、教材リスト、なるほど集(解説書)の特徴、理科支援のホームページはほとんど毎日アクセスされている等の講演及び教材紹介であった。
 - (3) 支援まではいいが、その後どのように子供の興味をいかに引きつけていくか、夢を持たせるか、親をいかに巻き込むか、親を巻き込んだサロンみたいなものが有効でないか等の意見があった。
 4. 2 インテレクチュアル・ベンチャーズ会社紹介 (如澤氏説明)
 - (1) 2000 年に米国ワシントン州に設立した投資会社である。世界 8 カ国に 600 名近いプロフェッショナルを擁し、優れたアイデアの創出・権利化・活用業務を行っている。資金規模は 50 億ドルである。インテレクチュアル・ベンチャーズ・ジャパンは 2007 年に創設され、現在 20 名のスタッフが在籍している。
 - (2) 5～10 年先に起こりうる重要な問題を予測し、世界中に構築されたグローバルな発明家ネットワークに配布し、その問題を解決するアイデアを提供してもらう(課題提案型)。もう一つは発明者が独自にされた自由な発明を提示してもらうプログラム(オープン型)がある。
 - (3) これらの発明について審査の後、採用されたアイデアに対して一時金を支払う。これらの発明を権利化し、価値ある特許ポートフォリオを構築した上で、これを必要とする企業に提供する。
 - (4) 発明家には資本と専門知識を提供し、企業には新たなイノベーションを提供する。
 - (5) IT (情報技術)・エレクトロニクス・化学の分野において発明パートナーを求めている。
 4. 3 IEEJプロフェッショナル・リソースデータベースの作成
植田正紀氏より「IEEJプロフェッショナル・リソースデータベースの作成」最終版が提出され、承認された。



ニュース 3. IEEJプロフェッショナル第19回懇談会 (メモ)

1. 日時 平成 21 年 11 月 17 日 (火) 14 時 30 分～17 時 30 分
2. 場所 東京電力電気の史料館
3. 出席者 11 名
- 4 見学内容

東京電力電気の史料館の見学内容は次の通りであった。

- (1) 「電気と社会の 120 年」というタイトルの映画が映写された。
- (2) 「日本人と電気の出会い」(江戸～明治中期)
トムソン密閉型アーク、日本最初の電気の文献(1765 年)等
- (3) 「火力発電による電力供給網の誕生と発展」(明治中期)
エジソン式直流発電機(1890 年頃)、工部大学校直流発電機(1886 年)等
- (4) 「水力発電と長距離送電のはじまり」(明治末期)
日光第一発電所水車発電機(1918 年) 信濃川発電所水車発電機(1939 年)等
- (5) 「広域供給網の形成」(大正期～)
塔之沢線鉄塔(1909 年)、鬼怒川線鉄塔(1911 年)、特別高圧変圧器(1910 年)、旭変電所同期調相機(1926 年)等
- (6) 「電気と社会」
電気自動車(1907 年)、戦前のラジオ、三種の神器、配電自動化のあゆみ等
- (7) 「ネットワークの形成と運用」
麹町電灯局(1888 年)、保護リレー、電力線搬送電話(1922 年)等
- (8) 「発電所の大容量化・高効率化」(戦後高度経済成長期)
旧千葉火力発電所 1 号タービン発電機(1957 年)、出力別タービンブレード等
- (9) 「電源の多様化とベストミックスの推進」(戦後安定成長期)
国産発電用 1 号ガスタービン、バーナー各種、500 kV・V 吊型懸垂碍子装置(1988 年)、西堀変電所 72kV ガス絶縁開閉装置等
- (10) 「原子力発電のあゆみ」
シカゴ・パイル 1 号 CP-1(1942 年) 黒鉛減速材、日本原子力 1 号炉初臨界チャート、エンジニアリングモデル(1980 年代)、インターナルポンプ、燃料集合体の変遷、制御棒と制御棒駆動装置等

5. 今後の行事

5. 1 第 20 回懇談会

- (1) 日時 平成 21 年 12 月 16 日 (水) 15 時～17 時
- (2) 場所 電気学会会議室
- (3) 講演 柴崎一郎氏「科学とは何か、技術とは何か」
- (4) その他



5. 2 講演会

- (1) 日時 平成 22 年 1 月 27 日 (水) 13 時 30 分～19 時
- (2) 場所 東京都立産業技術研究センター
- (3) 講演及び意見交換会
 - 1) 岩永敏秀氏 (東京都立産業技術研究センター) 「LED 照明とその評価」
 - 2) 寺嶋正之氏 「企業における省エネルギーへの取組み」
 - 3) 渡邊 稔氏 「停電対策の最前線ー停電の原因と対策例」
 - 4) 大島正明氏 「ノイズ問題の背景と EMC」

5. 3 第 21 回懇談会

- (1) 日時 平成 22 年 2 月 16 日 (水) 15 時～17 時
- (2) 場所 電気学会会議室
- (3) 講演 未定

事務局からのお知らせ

IEEJ プロフェッショナルに役に立つセミナー情報や大学・学校・教育委員会などで IEEJ プロフェッショナルの人たちが活躍できるお話がありましたらお知らせ下さい。

なお、アクションレポートの更新は約 1 ヶ月毎に行います。

連絡先：社団法人電気学会 技術者教育課：吉澤 純一

E-mail : yoshizawa@iee.or.jp 電話 : 03-3221-3710